

# 日赤前橋市地区からのお願い

## 赤十字活動資金の寄付にご協力ください

地域の福祉や災害救護に必要な日本赤十字社の活動資金は皆さまからの寄付によって成り立っております。活動の趣旨にご理解いただき、ご協力よろしく申し上げます。

### ① 500円をめやすに活動資金募集にご協力ください



左図のような日本赤十字社の様々な活動を継続していくために、一人あたり500円を目安に寄付をお願いしています。寄付の使い道の詳細は右の二次元コードから動画でご覧いただけます。



※寄付額はあくまでも目安です。また、寄付は強制ではありません。

寄付金は、お住いの自治会（組長・班長さんなど）から協力のお願いに伺いますので、その際にお渡しください。②は領収書の発行手順です。

### ② 活動資金協力申込の手順（申込書は以下の継続者用と新規協力者用の2種類です）

- ①【継続で協力いただく方へ】3連（A～C票）になっている継続用申込書に、予め印字されている内容をご確認ください。（見本1から3）
- ②【新規で協力いただく方へ】3枚つづりで複写式の新規用申込書を使用してください。一番上のA票に必要事項を記入し、一番下のC票まで複写されていることを確認ください。（見本4）
- ③【継続の方・新規の方ともに】寄付の後に、申込書のC票部分を切り取り、領収書として保管してください。

<p>令和4年度日本赤十字社 A票 赤十字活動資金協力申込書</p> <p>継続用 市役所保管用</p> <p>見本1</p>	<p>令和4年度日本赤十字社 B票 赤十字活動資金協力申込書控</p> <p>継続用 自治会保管用</p> <p>見本2</p>	<p>令和4年度日本赤十字社 C票 赤十字活動資金協力申込書控兼領収書</p> <p>継続用 納入者保管用</p> <p>見本3</p>	<p>令和4年度日本赤十字社 C票 赤十字活動資金協力申込書控兼領収書</p> <p>新規 納入者保管用</p> <p>見本4</p>
---	--	--	---



# 日本赤十字社は、国内災害救護、海外救援、防災・減災の普及啓発など 様々な活動を通じて「救うこと」を続けています。

## 国内災害救護

自然災害や事故などの発生に備え、前橋赤十字病院8班、原町赤十字病院2班の医療救護班を常備し、日頃から県内各地で訓練を行っています。また、被災された方々のために毛布などの救護物資を県内各地に備蓄しています。



## 国際活動

海外で絶え間なく起こる紛争や自然災害、病気などに苦しむ人を救うため、192の国や地域に広がる世界的ネットワークを生かし、緊急支援や復興支援など、その国の赤十字と連携し、地域に根ざした取り組みを進めています。



## 救急法などの講習

AEDの使い方や心肺蘇生法、高齢者の支援に役立つ介護技術、子どもの事故の予防と手当て、水難・雪上事故における応急処置など、いざという時に役立つ知識と技術の普及に努めています。県内では年間約10,000人の方々受講しています。



## 赤十字ボランティア

赤十字の活動は、多くのボランティアの方々を支えられています。災害時の支援や地域に根ざした活動、特定のスキル(アマチュア無線、接骨師、飛行パイロット)を生かしたボランティアなど、県内では約9,000人の方々活動しています。



## 青少年赤十字

世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、さまざまな活動を学校教育の中で展開し、子どもたち自身が「気づき、考え、実行する」力を育てています。県内では、552校、約140,000人の子どもたちがメンバーとして活躍しています。



## 赤十字病院

県内には前橋・原町の2つの病院があります。赤十字の大きな特徴である災害時に医療チームを派遣する体制を整えているほか、ドクターヘリ事業などの救急医療、がんなどの高度専門医療、生活習慣病予防など地域の基幹病院としての役割も担っています。



## 血液事業

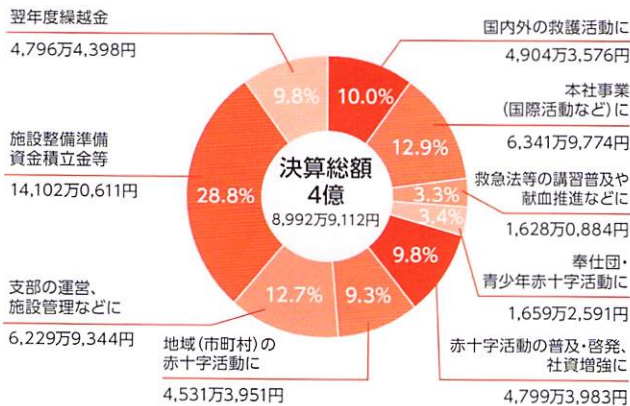
病気やけがの治療で輸血を必要とする人を救うため、赤十字血液センターでは、行政機関、学校、企業と連携し、献血者の確保に努めています。県内3カ所の献血ルーム(前橋、高崎、太田)や献血バスで年間約90,000人の方々にご協力いただいています。



## 赤十字活動資金の使いみち

### ●令和2年度 歳出決算(事業報告)

皆さまからのご支援に対して心からお礼申し上げます。



※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この決算には含まれません。

### ●令和4年度 歳出予算(事業報告)

皆さまからお寄せいただく資金をもとに次のとおり事業を実施します。

